

S/F REAL4

Q&A

【符号管理】

 あいホールディングスグループ 

株式会社 **ドットウェル** ビー・エム・エス

DATA LOGIC



鋼材と製品で別の符号をつけたい！

パラメーターで設定します。

【パラメーター】 - 【データ作成】 - 43.符号管理関連 - 1) 鋼材と製品が同一形状 で設定します。

1) 鋼材と製品が同一形状 の設定値によって、**符号管理** - **製品**で表示する部材データが変わります。

パラメーターの初期値は2-同一符号です。

項目名称	設定値
1 鋼材と製品が同一形状	2-同一符号
2 ロックした符号名の使用	1-別々に符号設定
3 母屋/パネル符号	2-同一符号
4 胴縁/パネル符号	1-胴縁品名と同じ
5 長さ符号	1-小数点あり

1-別々に符号設定：**鋼材**と**製品**でそれぞれ符号名を設定するため、すべての製品データを表示します。

区分	データ数	△	○	□	ロック	符号未入	同一グループ番号の符号名の統一	符号名自動設定	重複の許可	自動設定符号名ルール	集約	カウント開始
柱	6	0	0	0	0	0	0 2-しない	1-する	2-しない	"節" G"キープラン"交点	区間1がセット 1- 最大値	
梁	42	0	0	0	0	0	0 2-しない	1-する	2-しない	"鋼材符号名"	区間1がセット 1- 最大値	



符号管理 - **鋼材**で設定した符号名を使用したい場合は、自動設定符号名ルールを“鋼材符号名”にしてください。

2-同一符号：鋼材と製品で形状が同じ場合、**符号管理** - **鋼材**で設定した鋼材符号名を

製品符号名に割り当てます。製品符号も考慮して鋼材符号名を設定する必要があります。

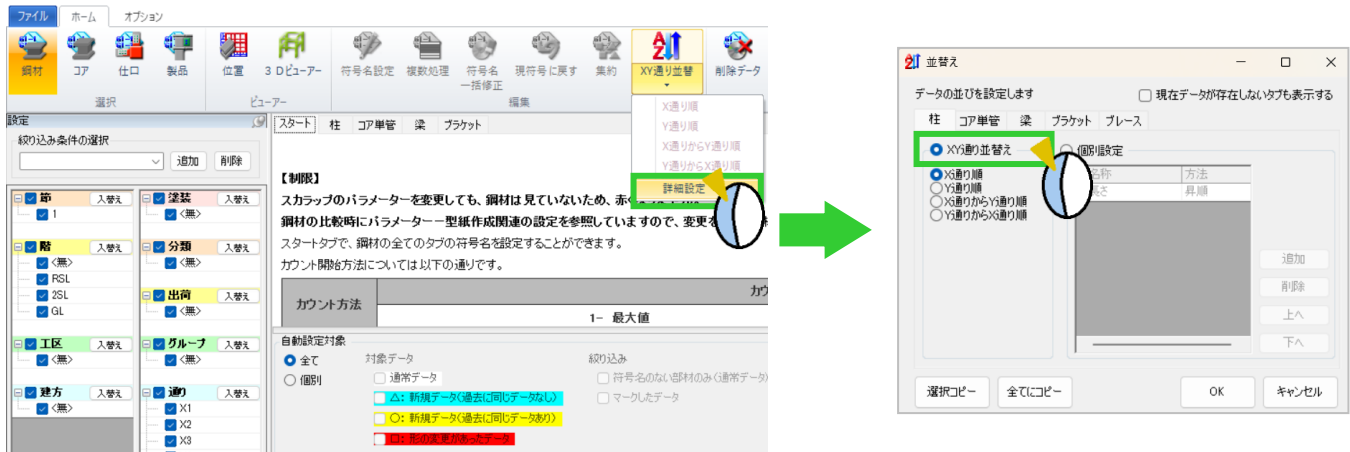
溶接で梁が取り付くなど、鋼材と製品で形状が異なるデータのみ**符号管理** - **製品**に表示します。

区分	データ数	△	○	□	ロック	符号未入	同一グループ番号の符号名の統一	符号名自動設定	重複の許可	自動設定符号名ルール	集約	カウント開始
柱	6	0	0	0	0	0	0 2-しない	1-する	2-しない	"節" G"キープラン"交点	区間1がセット 1- 最大値	
梁	4	0	0	0	0	0	0 2-しない	1-する	2-しない	"鋼材符号名"	区間1がセット 1- 最大値	

符号(合番)のカウントを配置位置順にしたい！① 一括で通り順に並び替えが可能です。

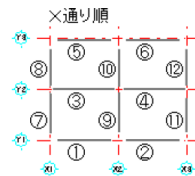
例) 全てのタブをX通り順に並び替えをする場合

【XY 通り並替】 - 【詳細設定】をクリックし、【XY 通り並替え】をクリックします。



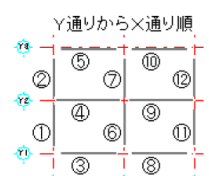
《X 通り順》

X 通り順に部材を並び替えます。



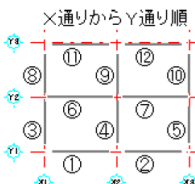
《Y 通り順》

Y 通り順に部材を並び替えます。



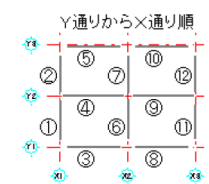
《XY 通り順》

X 通りから Y 通り順で、
部材を並び替えます。



《YX 通り順》

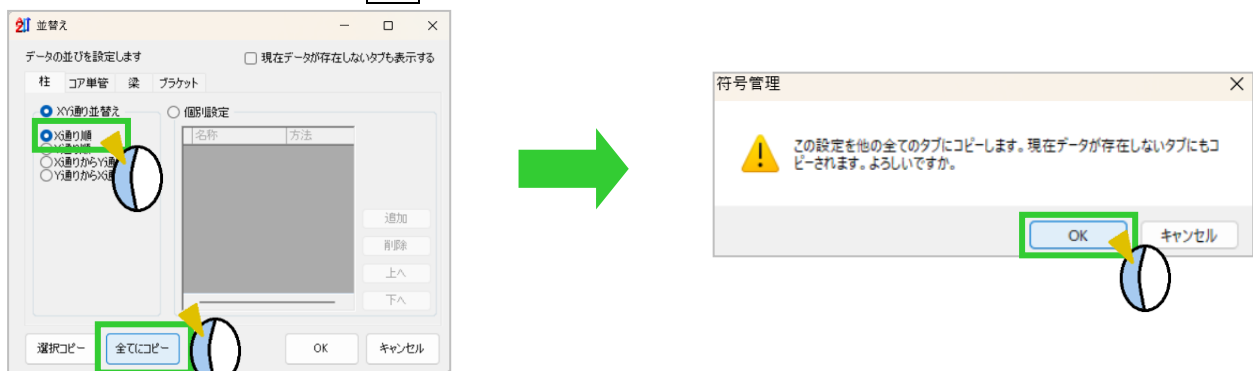
Y 通りから X 通り順で、
部材を並び替えます。



今回は X 通り順に並び替えをしたいため、【X 通り順】をクリックします。

今は、【柱】のタブで設定しているため、他の鋼材にも同様に【X 通り順】に設定をし、【全てにコピー】をクリックして、柱以外の他の鋼材にも同様の設定をコピーします。

確認メッセージが表示されるため、【OK】をクリックして他の鋼材にも同様の設定をコピーします。



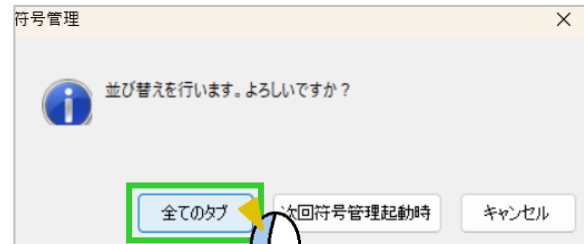
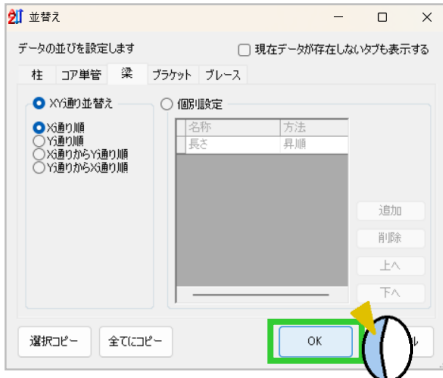


符号(合番)のカウントを配置位置順にしたい！②

一括で通り順に並び替えが可能です。

並び替えを行うため、[並び替え] 画面の **OK** をクリックします。

並び替え確認メッセージが表示されるため、**全てのタブ** をクリックして、部材を並び替えます。



各鋼材タブで X 通り順に部材の並び替えが行われます。

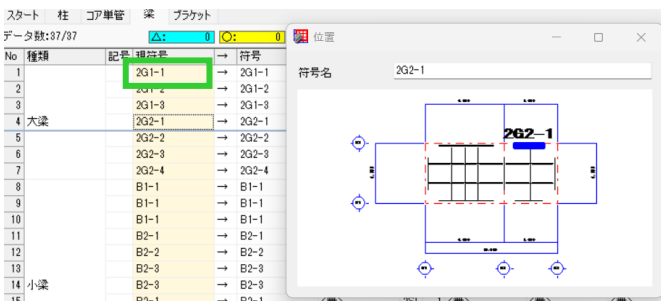
符号名でカウントを行う場合、全て X 通り順に 1 からカウントされます。

※通り上の部材は設定により適正に並び替えを行います。子梁や孫梁はサイズや配置位置により、設定通りに並び替えない場合があります。

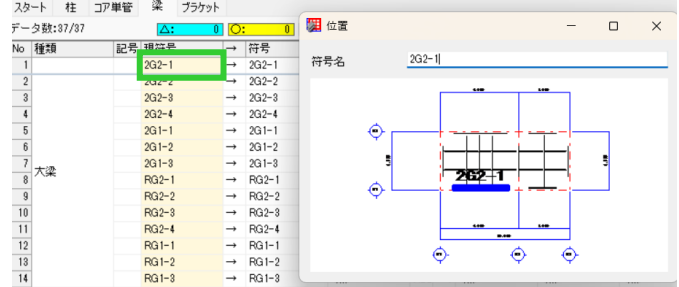


並び替えを行わない場合、入力した順番でカウントします。

《並び替え前》

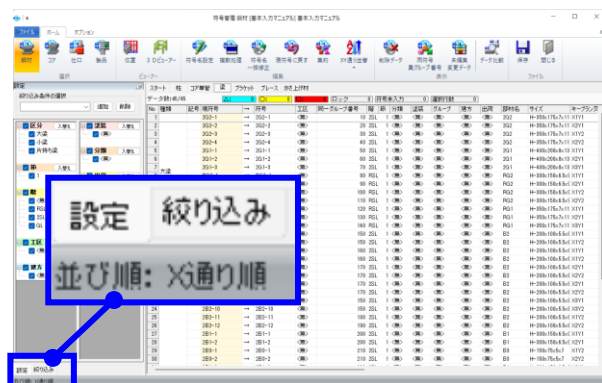


《X 通り順並び替え後》

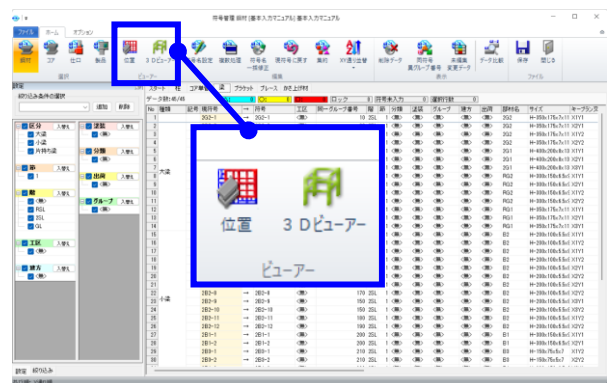


設定した並び順は各タブの左下で確認できます。

例) X 通り順に並び替えした際の梁タブ



位置では、選択している行の部材の位置を表示し、確認することができます。





符号管理の集約条件とは？

どこまで見て同一形状かの条件を設定します。

例) 柱の符号を、工区が違ってても同サイズ同材質なら同じ符号名を振りたい。

集約オプションの集約条件 **【工区】** の ☒ を外してください。

工区の ☒ を外すことで、工区の認識をしなくなるので、同じ形状の柱は同一グループ番号が同じになり、同じ符号名が振られます。

※基本的に**【部材名】**は ☒ をいれておいてください。

☒ を外すと、部材名が違う同サイズ同材質の鋼材を同一グループ番号にしてしまいます。

集約オプション 柱

集約条件
集約の条件となる項目に、チェックを入れてください。

☐ 工区 ☒ ガセット番号 ☐ 二次部材番号 ☐ 母屋・胴縁番号 ☐ ドーブチ番号
☐ 階 ☐ 分類 ☐ グループ ☐ 塗装 ☐ 建方 ☐ 出荷 ☐ 型紙図番
☒ 部材名

全選択 全解除 入替え

※ドーブチ番号はドーブチデータを参照するため、ドーブチデータを作成していないと集約に反映しません。

スタート 柱 コア単管 梁 ブラケット プレース かさ上げ材 胴縁

データ数: 16/16

No	種類	工区	長さ	サイズ	同一グループ番号
1	本柱	A工区	3455	□-300x300x19	10
2		A工区	3455	□-300x300x19	20
3		B工区	3455	□-300x300x19	20
4		A工区	3455	□-300x300x19	30
5		A工区	3455	□-300x300x19	40
6		B工区	3455	□-300x300x19	20
7		A工区	3428.9	□-300x300x16	50
8		A工区	3428.9	□-300x300x16	60
9		B工区	3428.9	□-300x300x16	70
10		A工区	3128.9	□-300x300x16	80
11		A工区	3128.9	□-300x300x16	90
12		B工区	3128.9	□-300x300x16	100



同一グループ番号とは？

同一形状の部材に自動的に振られる番号です。

集約条件のチェックによって、同じ条件になれば、同一グループ番号が同じになります。

例) 柱の符号を、工区・柱ガセット・二次部材の取り付けなどは見ず、長さと端部形状が同じ場合は同じ符号にしたい。

集約オプションで**【部材名】**にのみ ☒ をいれてください。

集約オプション 柱

集約条件
集約の条件となる項目に、チェックを入れてください。

☐ 工区 ☐ ガセット番号 ☐ 二次部材番号 ☐ 母屋・胴縁番号 ☐ ドーブチ番号
☐ 階 ☐ 分類 ☐ グループ ☐ 塗装 ☐ 建方 ☐ 出荷 ☐ 型紙図番
☒ 部材名

スタート 柱 コア単管 梁 ブラケット プレース かさ上げ材 胴縁

データ数: 12/16

No	種類	工区	長さ	サイズ	同一グループ番号
1	本柱	A工区	3455	□-300x300x19	10
2		B工区	3455	□-300x300x19	10
3		B工区	3455	□-300x300x19	10
4		A工区	3455	□-300x300x19	10
5		A工区	3455	□-300x300x19	10
6		A工区	3455	□-300x300x19	10
7		B工区	3428.9	□-300x300x16	20
8		A工区	3428.9	□-300x300x16	20
9		A工区	3428.9	□-300x300x16	20
10		A工区	3128.9	□-300x300x16	30
11		B工区	3128.9	□-300x300x16	30



基本的に全て ☒ がない場合は切断寸法(長さ)と端部形状のみの集約となります。

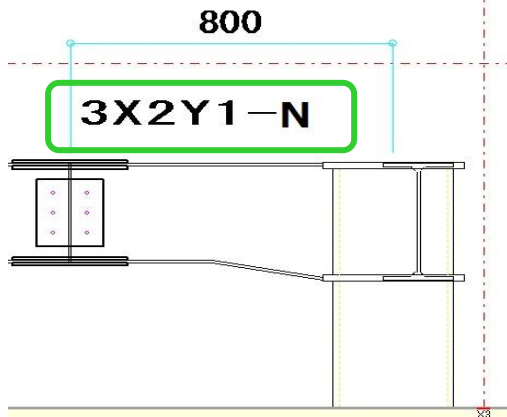
したがって、☒ の数が多いほど符号名が分かります。

今回は**【部材名】**にのみ ☒ を入れているため、部材名と切断寸法、端部形状のみをみて同一グループ番号を振っています。



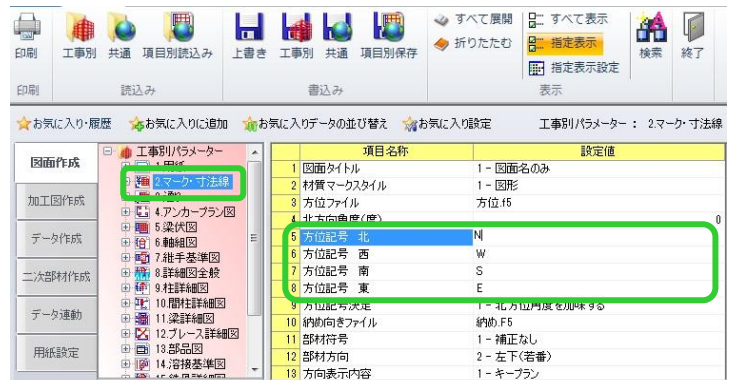
ブラケット符号を階符号+キープラン名+方位で付けたい！

パラメーターで方位の表示変更ができます。

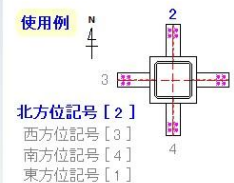


作図パラメーター - 図面作成 - 2.マーク・寸法線

5) ~8) 方位記号に表示したい記号や数字を設定してください。



北方位記号を入力します。
符号管理でブラケットの符号をつける際に、方位記号で使います。



符号管理 - 鋼材で、

符号名設定を開き、

“階認識符号”

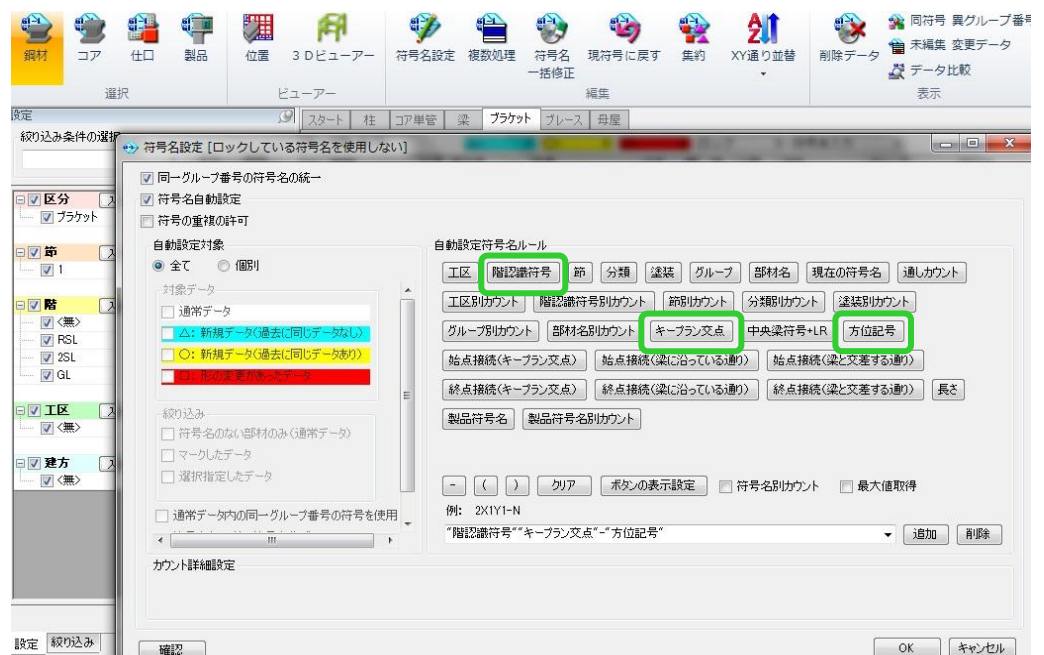
”キープラン交点” -

”方位記号”

に、設定してください。

※スタート画面で設定し、

一括作成しても OK です。



梁伏図や軸組図にブラケット符号を表示させるには、**作図パラメーター - 図面作成 - 5.梁伏図 - 32) ブラケット符号**や**6.軸組図 - 37) ブラケット符号**で『鋼材符号名 (#2)』を設定してください。

柱詳細図や仕口加工指示書にブラケット符号を表示させるには、**図面作成 - 9.柱詳細図 - 27) ブラケット符号**に『鋼材符号名 (#2)』を設定してください。



手入力で符号(合番)を変更する際に同じ形のものは自動で同じ符号にしたい！ 符号管理内の設定にて自動で統一させる事が可能です。

符号管理内の画面右下の「絞り込み」タブをクリックします。

(例) 型紙「ガセット」タブ (「鋼材」「コア」仕口)「製品」の符号管理でも同様に設定可能です)

手動で符号を変更した際に同じグループ番号の符号も同時に変更したい場合は、以下の設定を「**○する**」にします。

個別変更時、同グループ番号の符号を統一する

☒ する ☐ しない

変更する符号名を「符号」欄に入力し **ENTER** キーで確定します。

記号	現符号	→	符号	工区	階	節	分類	塗装	グループ	建方	出荷	継手名	サイズ	材質	同一グループ番号	形状番号
B-1	→	B-1	A	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	30	12
B-1	→	B-1A	A	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	40	13
B-1	→	B-1	B	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	30	12
B-1	→	B-1	B	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	30	12
B-1	→	B-1	B	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	40	13
B-1	→	B-1	C	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	30	12

同じグループ番号のガセット符号も一緒に変更されます。

記号	現符号	→	符号	工区	階	節	分類	塗装	グループ	建方	出荷	継手名	サイズ	材質	同一グループ番号	形状番号
B-1	→	B-1	A	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	30	12
B-1	→	B-1A	A	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	40	13
B-1	→	B-1	B	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	30	12
B-1	→	B-1	B	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	30	12
B-1	→	B-1A	B	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	40	13
B-1	→	B-1	C	2SL	1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>	無	無	無	無	30	12

「同一グループ番号」と「形状番号」とは？

【形状番号】

ガセットなど形状が同じ型紙には、同じ形状番号が振られています。

【同一グループ番号】

形状が同じ型紙で、さらに集約条件（工区や継手名）を考慮した上でも同じと判断された型紙には、同じグループ番号が振られています。

(例) 集約オプション ガセット：工区

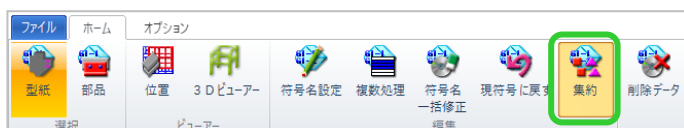
集約オプション ガセット

集約条件

集約の条件となる項目に、チェックを入れてください。

☒ 工区 ☒ 継手名

同一グループ番号	形状番号
30	12
60	13
40	12
40	12
70	13
50	12





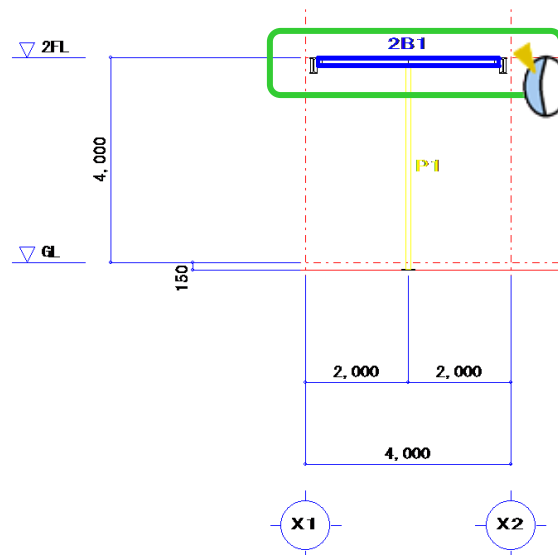
製品符号を梁の鋼材符号にしたいのに
間柱の鋼材符号になるので変更したい！

代表部材指定で設定できます。

【工区・塗装】 - 【製品】 - 【代表部材指定】を選択します。



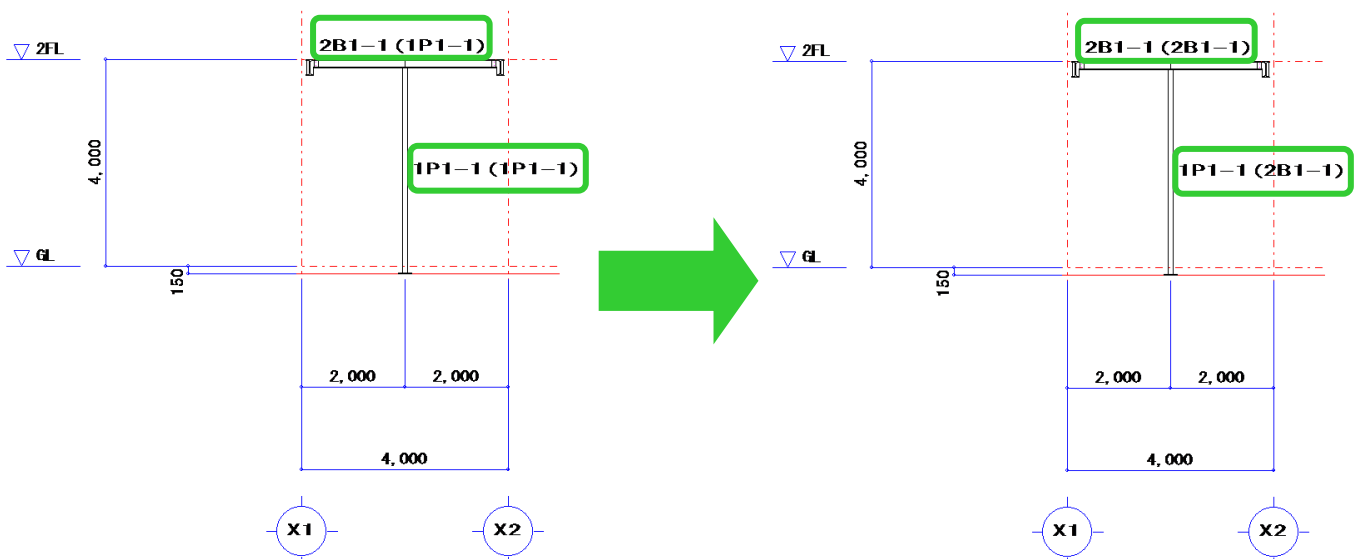
親にしたい梁をクリックします。



代表部材を梁にしたことで、製品符号の認識が梁の鋼材符号に変わります。

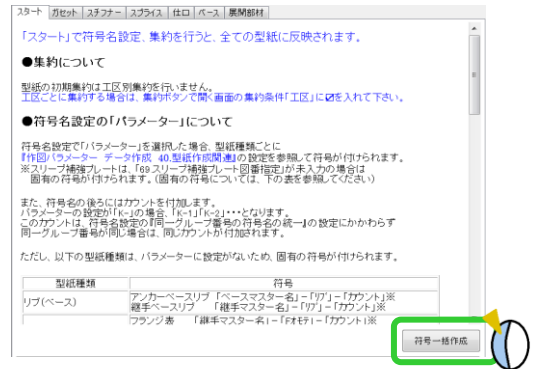
(作図パラメーター 6.軸組図 - 37) 間柱符号・40) 梁符号が#2 (#3) の場合)

※#2：鋼材符号名、#3：製品符号名



型紙図番をパラメーターにして振っているが1から振り直したい！ 「パラメーターカウント」を「振り直し」に設定します。

【符号管理】 - 【型紙】 - 【符号一括作成】をクリックします。



画面左下にある【パラメーターカウント】 - 【表示方法】をクリックし、【2-振り直し】を選択します。

OKをクリックし、再度型紙の符号を振り直し、符号名を保存して下さい。



No	種類	記号	現符号	→	符号	工区
1			B-5	→	B-1	<無>
2			B-5	→	B-1	<無>
3			B-5	→	B-1	<無>
4			B-5	→	B-1	<無>
5			B-5	→	B-1	<無>
6			B-5	→	B-1	<無>
7			B-5	→	B-1	<無>
8			B-5	→	B-1	<無>
9			B-5	→	B-1	<無>
10			B-5	→	B-1	<無>
11			B-5	→	B-1	<無>
12	梁ガセット (小梁)		B-5	→	B-1	<無>
13			B-6	→	B-2	<無>
14			B-6	→	B-2	<無>
15			B-6	→	B-2	<無>
16			B-6	→	B-2	<無>
17			B-6	→	B-2	<無>
18			B-6	→	B-2	<無>
19			B-6	→	B-2	<無>
20			B-6	→	B-2	<無>
21			B-7	→	B-3	<無>
22			B-7	→	B-3	<無>
23			B-7	→	B-3	<無>



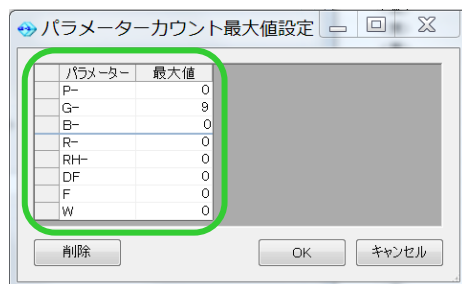
画面左下のパラメーターカウント最大値設定を設定し、【パラメーターカウント】 - 【表示方法】

- 【1-最大値】で振り直すと、設定した最大値からカウントを開始します。

例) 大梁に取り付く梁ガセット (G-**) の最大値を「9」と入力し、最大値で振り直した場合

→カウントは 10 から開始します。

※最大値を 0 にした場合は 1 から振り直します。



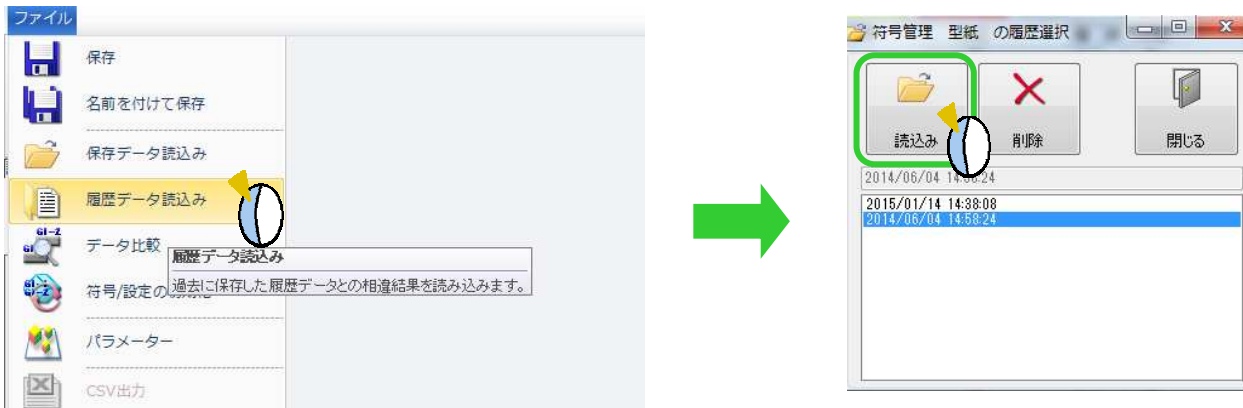
No	種類	記号	現符号	→	符号
1			P-1	→	P-1
2			P-1	→	P-1
3			P-1	→	P-1
4	間柱ガセット		P-1	→	P-1
5			P-1	→	P-1
6			P-1	→	P-1
7			G-1	→	G-10
8			G-1	→	G-10
9			G-1	→	G-10
10			G-1	→	G-10
11			G-1	→	G-10
12			G-1	→	G-10
13			G-2	→	G-11
14			G-2	→	G-11
15			G-2	→	G-11
16			G-2	→	G-11
17			G-3	→	G-12
18			G-3	→	G-12
19			G-3	→	G-12
20	梁ガセット (大梁)		G-3	→	G-12
21			G-4	→	G-13



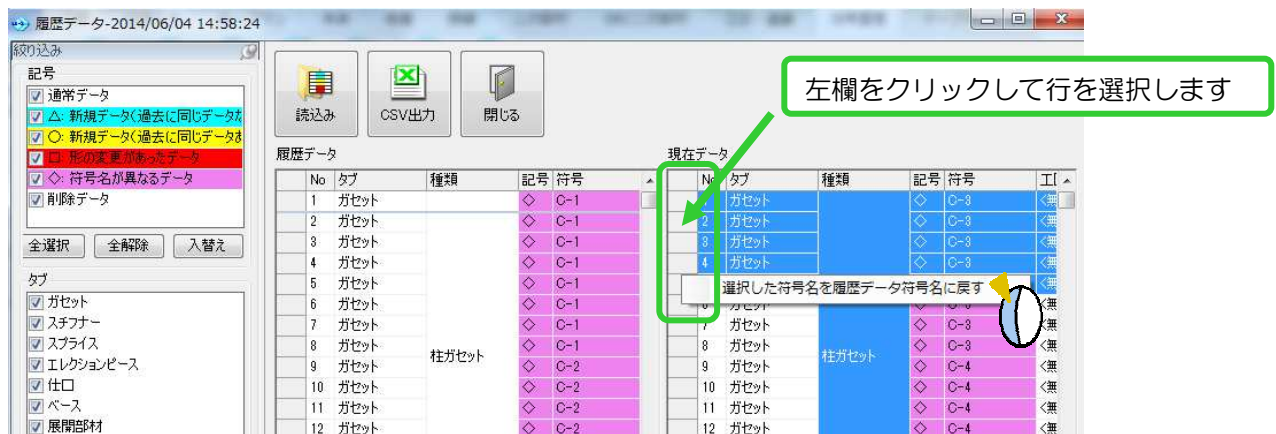
誤って型紙図番を振り替えてしまった。前の番号に戻したい！ 自動保存があるので、履歴から呼び出すことができます。

【ファイル】 - 【履歴データ読み込み】 をクリックします。

履歴は保存ボタンを押した際に残ります。読み込みたい日時を選択し、読み込みボタンを押します。



画面左側に履歴データ、右側に現在の符号名が表示されます。現在の符号名のNoの左欄をShiftまたはCtrlキー+左クリック、またはドラックして戻したい符号名の行を選択してください。現在の符号名のNoの左欄で右クリックします。【選択した符号を履歴データ符号名に戻す】を選択します。



履歴データ画面を閉じて、符号名が戻っていることを確認し、【保存】ボタンをクリックして下さい。



鋼材や製品名でも履歴のデータに戻すことが可能です。

また、保存時に自動的に履歴を残しますが

【ファイル】 - 【名前を付けて保存】 から手動で保存することも可能です。